会議録

会議の名称	令和3年度 第2回飯塚市社会教育委員の会会議
開催日時	令和3年12月24日(金)15:00~15:56
開催場所	イイヅカコミュニティセンター 2階 展示ホール
出席委員	楢原 理香、後藤 直巳、山本 和生、仲野 優子、中野 靖彦、花 岡 夏子
欠席委員	小田原 嘉朋、井上 節子、竹川 克幸、谷 亜矢子
事務局職員	教育部長、生涯学習課長、文化課長、生涯学習課長補佐兼中央公民館長、文化財保護推進室長、生涯学習係長、中央公民館・図書館係長、生涯学習ひろば整備担当主査、穂波交流センター長、庄内交流センター長、頴田交流センター長
会議内容	1 開会 15:00 2 教育委員会あいさつ (教育部長) 社会教育については、これまでも時々の社会状況に応じてあらゆる学びを通して、また多様な人と人とのつながりのなかでどのように強く生きていくかという道筋を見出すためにその役割は多様化していると感じている。 最近ちょっと気になることがあり、それは 18 歳と 19 歳以降のギャップである。例えば先般行われた衆議院選挙の投票率だが、本市では 18 歳の投票率が 45.72%であったのに対し、19 歳では 33.85%と約 12 ポイントもの差がついている。ご承知のとおりいま学校教育では主権者教育やキャリア教育、人権教育に相当の力を注いでいるが、なぜ 19 歳になると途端に変わってしまうのか。これは個人的な推測だが、人は 19 歳になると進学するにしても就職するにしても、自分をその道の専門家にするために歩み始める。情報技術や自動化の進展で新しい専門職が現れては古い専門職が消えていくといった激動の時代の中にあって自分の専門以外には関心を持たなくなっているからではないかと感じている。これには自分の専門以外、もっと言えば自分以外の人々に興味関心を持つことが重要である。そのためにはやはり社会教育の充実が必要ではないかと思っている。よりより社会教育事業を振興していくことについて、今後とも委員の皆様方のご意見やご助言をお願いしたい。 3 議題 (1)令和3年度 教育部事業進捗状況について配布資料に基づき事務局より説明●中央公民館・図書館係主管事業

- ・「コミセンまつり」 2年ぶりの開催予定、実施方法の変更
- ・「成人式」 YouTube 配信、事前座席登録制度の導入
- ●文化課主管事業
- ・「飯塚総合文化祭」 10月から11月にかけて実施、来場者等の報告

【質問及び意見】

委員:コミセンまつりはステージ発表は一切なしということだろうか。

事務局:そのとおりである。

- (2) 令和3年度 生涯学習体系について 配布資料に基づき事務局より説明 体系(案)を提示。今年度更新予定箇所の説明を行う。
 - ●課題・問題点のオンライン化への対応の遅れに今年度の対応を 記載

会議内容

【質問及び意見】

委員:今後オンラインで実施する講座は具体的にどういったものを考 えているか。

事務局:小学生向けに1月15日に写真フレームづくり、1月22日 に万華鏡づくりの講座を企画している。

委員: その講座は人を集めてではなく、オンラインで実施するという ことか。

事務局:受講者は会場に集まるが、講師がオンラインで参加する形式 をとっている。

- (3) 社会教育関係団体の登録について 配布資料に基づき、事務局より説明
 - ●継続申請のあった2団体について説明

【質問及び意見】

委員:水仙が登録を見送った理由はなにか。

事務局:穂波まちづくり協議会の協力団体として活動しているため社

会教育関係団体の登録は見送ると伺っている。

委員:水仙が登録するのをやめたということでよいか。

事務局:水仙からの申請がないということである。

- (4) 令和3年度第6回飯塚市議会定例会の結果について 配布資料に基づき、事務局より説明
 - ●一般質問などについて説明

【質問及び意見】

委員:会議録については後日各委員に郵送するということでよいか。

生涯学習係長:郵送させていただく。

委員:文化会館大規模改修について、改修期間中は施設の利用ができるのか。また、改修日程をもう一度教えていただきたい。

会議内容

文化課長:休館して工事を行うことになる。休館の日程は令和4年6月13日から令和5年5月1日まで約11か月間である。 その期間に集中して工事を行い、その後に開館したいと考えている。

委員:来年度の成人式の会場はどこになるのか。

中央公民館・図書館係長:飯塚体育館などを候補に検討を進めていこ うと考えている。

- (5) 飯塚市教育委員会事業評価結果(令和2年度分)について 資料に基づき、事務局より説明。
 - ●「PTA と連携した家庭教育推進事業の実施」と「放課後子ども教室や児童クラブ等との連携」について説明

【質問及び意見】

委員:学校教育分野の ICT の活用で一人一台タブレットが整備されているが、教科書やランドセルと合わせると小学生には重いのではないか。児童の体格に配慮いただきたい。また、タブレットで勉強できる内容とそうでない内容があると思う。ただ単にタブレットで勉強するのではなく、活用の方法について検討いただきたい。

生涯学習課長:頂いたご意見については学校教育課へお伝えするが、 この会議の趣旨は社会教育事業の審議となるので、そ の点はご了承いただきたい。 委員:飯塚市はオンライン化が少し遅れているかなと感じている。例 えば、先ほど説明いただいた「PTA と連携した家庭教育推進事業 の実施」の中の「家庭教育実践集」はオンラインで公表などし ているのか。実践集を配布したとおっしゃっていたが、関係者 へのみなのか、広く一般へも配布しているのか。 生涯学習係長:実践集は小中学校と関係職員へ配布している。 委員:電子書籍の導入について検討していると資料に記載しているが、 ぜひ進めていただきたい。コロナ禍で図書館に行きたくても行 けない人がいる。著作権など課題はあると思うが進めていただ きたい。 (6) その他 ●事務局より研修会のお知らせ ●オンライン講座の補足:1月10日「小さなイスをつくろう」 5 閉会 15:56 会議次第 · 令和 3 年度教育部事業進捗状況 · 令和 3 年度生涯学習体系 会議資料 ・社会教育関係団体の登録について ・ 令和 3 年度第 6 回飯塚市議会定例会の結果について ・飯塚市教育委員会事業評価結果(令和2年度分) 公開・非公開の別 |1| 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0 人) その他 (非公開理由等)